

令和元年度 雄物川水系渇水情報連絡会(第3回) 玉川ダム資料

令和元年8月7日

玉川ダム管理所

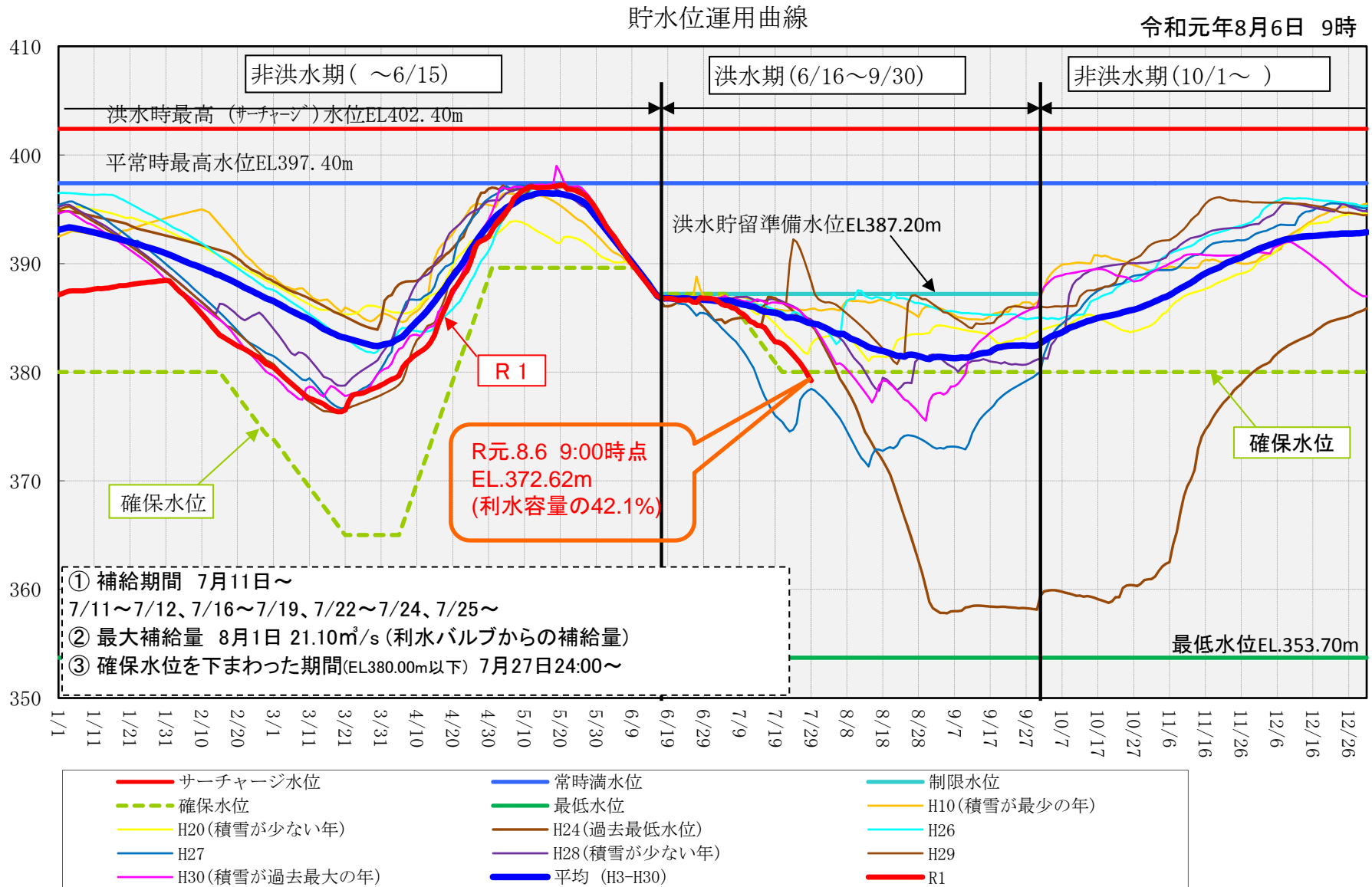
玉川ダム 貯水池渇水状況(平成24年度)



玉川ダム 貯水池渇水状況(平成24年度)

田沢湖 渇水状況(平成24年度)

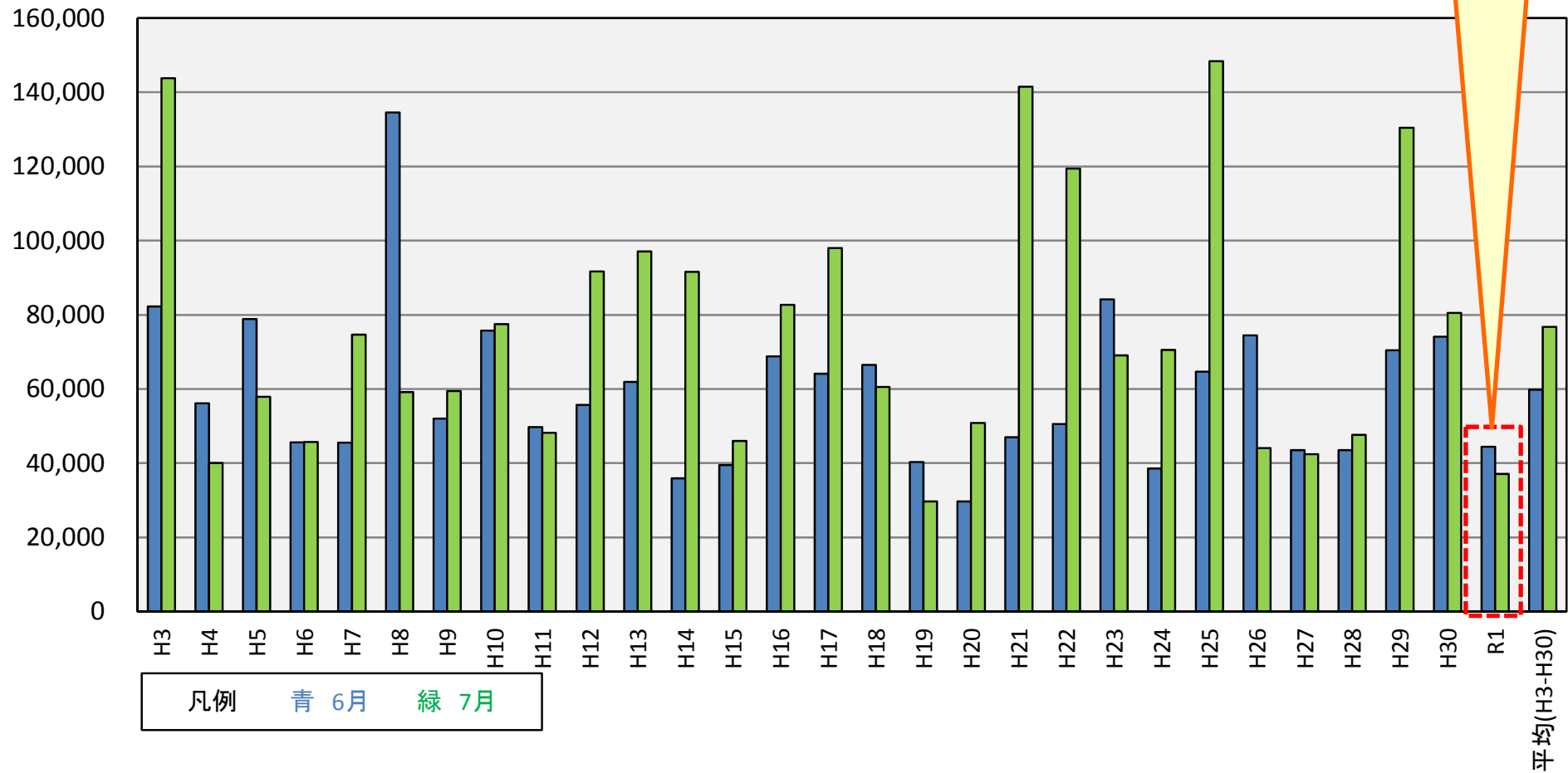
玉川ダムの貯水位の変化



玉川ダム流入総量(6月・7月)

R元年6月の玉川ダム流入総量は例年の7割程度。
7月は5割程度。

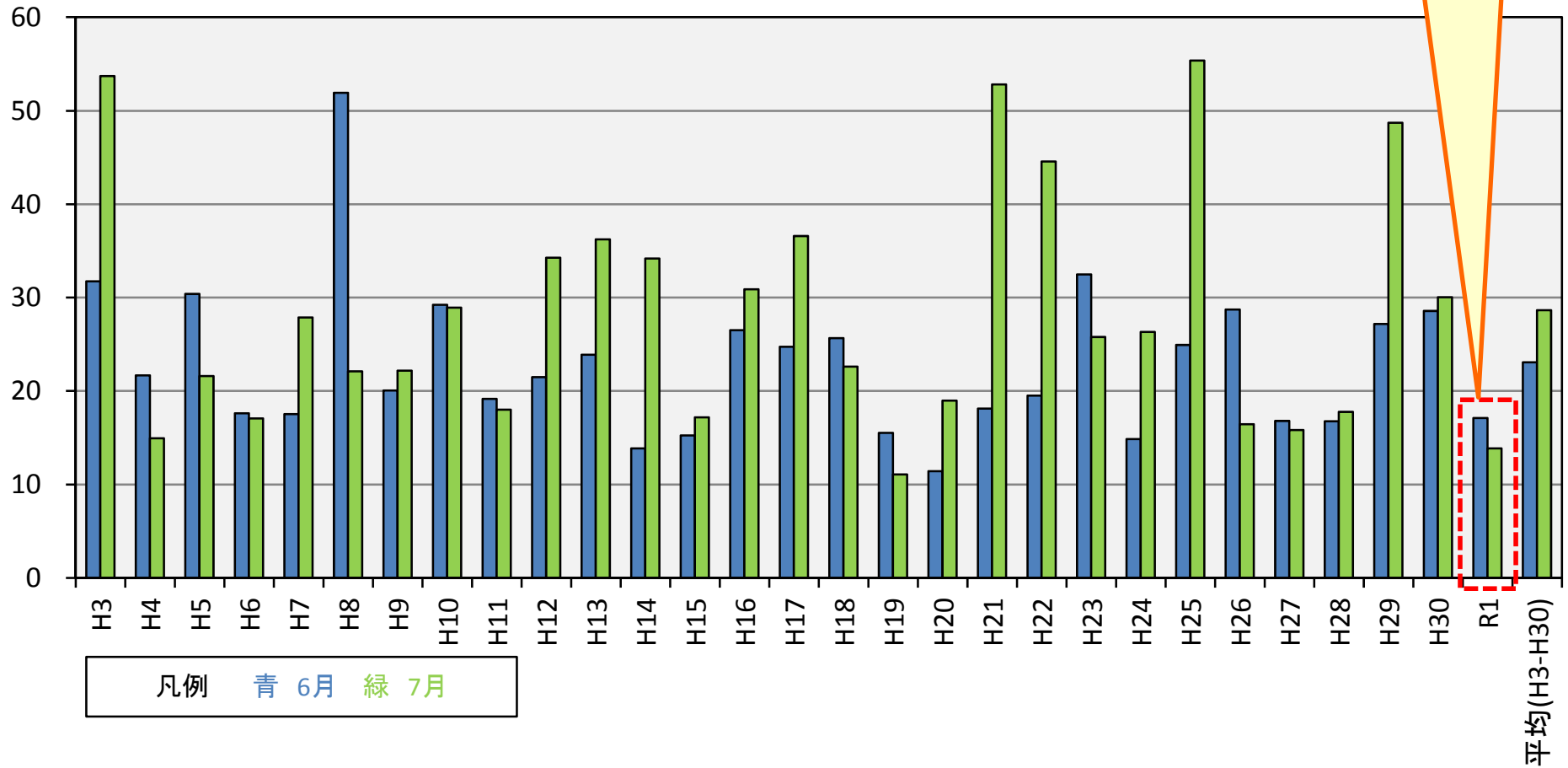
6月・7月の玉川ダム流入総量(千m³)



玉川ダム日平均流入量(6月・7月)

6月・7月の玉川ダム日平均流入量(m³/s)

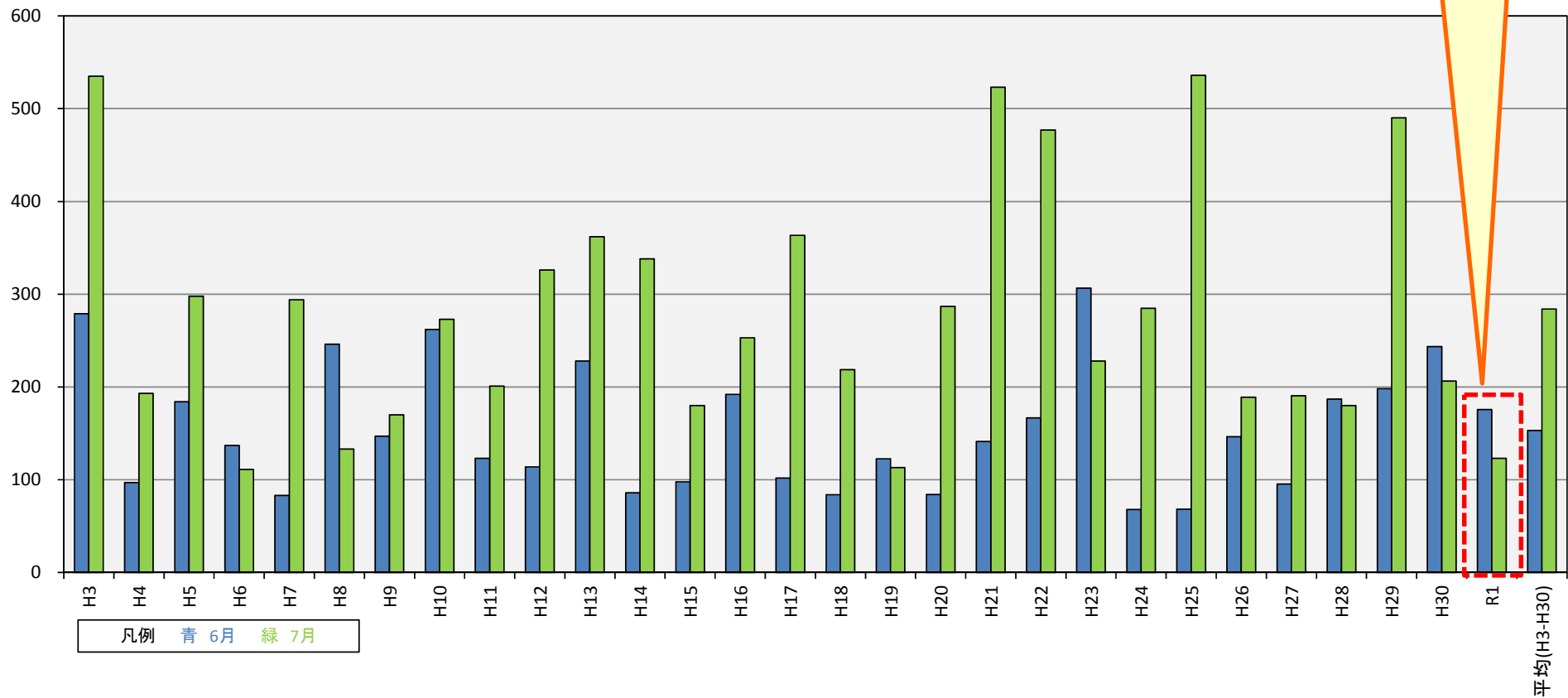
R元年6月の玉川ダム日平均流入量は例年の7割程度。
7月は5割程度



玉川ダム流域平均総雨量(6月・7月)

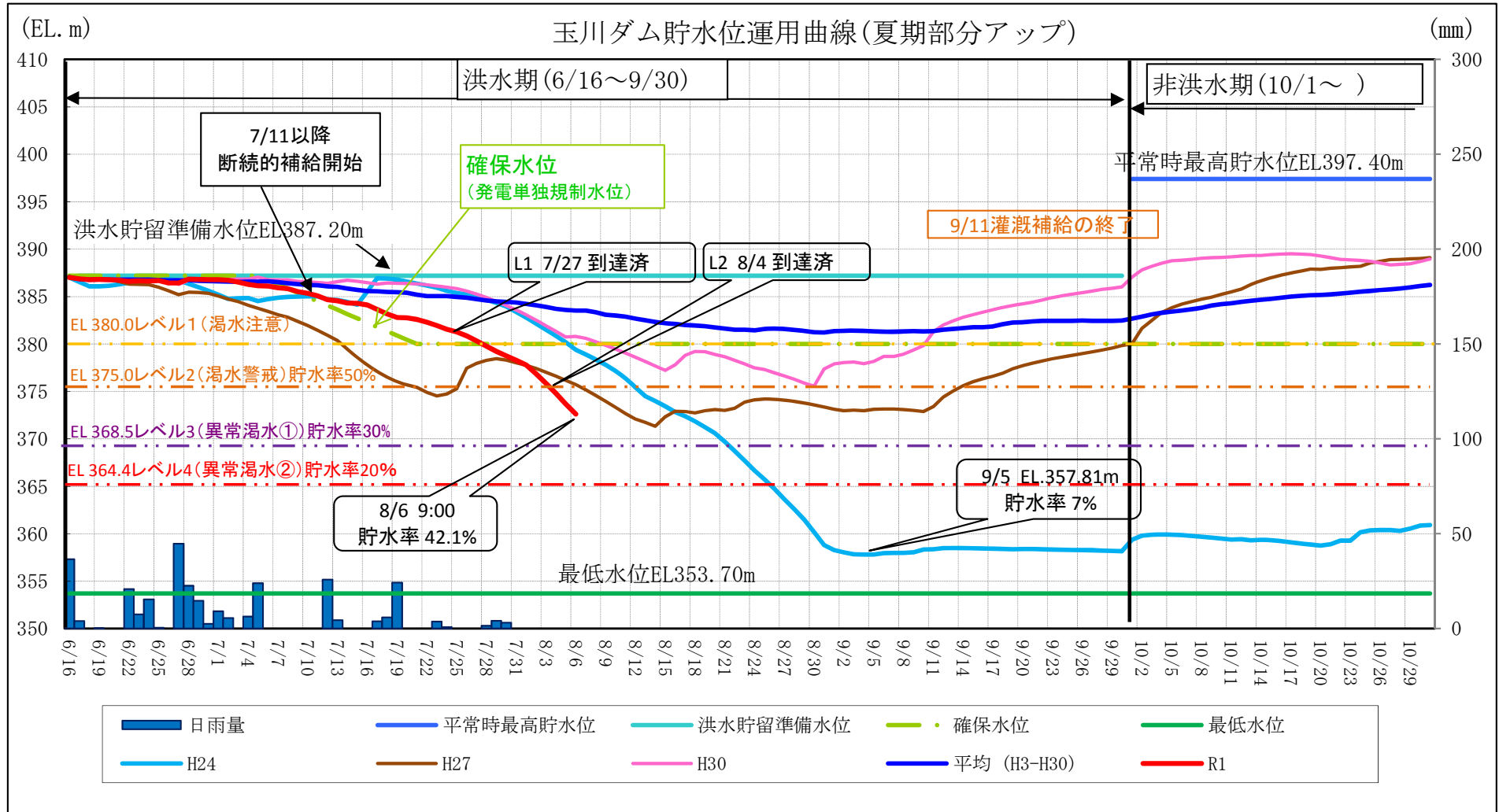
R元年7月の玉川ダム流域平均総雨量は、例年平均の約4割程度。

6月・7月の玉川ダム流域平均雨量(mm)



玉川ダムの貯水位見通し

令和元年8月6日 9時



異常渇水時の運用管理ルール(案)の概要

防災・観光の両面の観点に配慮した、補給割合、節水等の条件を設定。

- ① 防災面(PHの低下、地すべり挙動)から、玉川ダムの貯水位は、極力、最低水位(EL353.7m)に到達しないこと。
- ② 観光面から、遊覧船運航水位(EL244.5m)は、極力、確保する。

S39～H24流量よりシミュレーションを実施

【運用管理ルール(案)の概要】

- ① 連携した運用の管理は、**玉川ダムの貯水率**を目安として行う。
- ② 異常渇水が想定される場合は、田沢湖水位244mまで利用(**利用水深5m**)する。
- ③ 玉川ダム**貯水率70%**に到達が見込まれる場合、「**渇水情報連絡会**」を適宜開催し、情報の共有、対応等について調整を行う。
- ④ 田沢湖と玉川ダムの補給比率は、**現行の補給比率を基本**とし、玉川ダムの**貯水率が50%**に至った以降、補給比率を**段階的に変更**する。
玉川ダム**貯水率50%**に到達後 ⇒ 補給比率：玉川ダム52%、田沢湖48%
玉川ダム**貯水率30%**に到達後 ⇒ 補給比率：玉川ダム30%、田沢湖70%
- ⑤ 玉川ダム**貯水率20%**に到達以降、田沢湖の貯水位EL246.0m以下となることから、田沢湖の観光遊覧船関係者は、航行確保のための準備を進める。
- ⑥ 通常時は、田沢湖を優先回復させているが、**異常渇水時の各貯水量の回復**は、田沢湖で遊覧船運航水位が確保できている場合においては、PH低下による影響の軽減のため**玉川ダム・田沢湖とも50%**の同率回復とする。

異常渇水時の運用管理ルール(案)

玉川ダム及び田沢湖の運用管理に関する調整会議(H25.7策定)

連携した運用管理の各段階における、渇水対応については次のとおり。

通常時

通常時の補給比率

レベル1
(渇水注意)

玉川ダムの貯水位がEL.380.0m未満(貯水率概ね70%)の場合は、運用レベル1(渇水注意)に移行し、**玉川ダムの補給比率を80%、田沢湖の補給比率を20%**とする。

レベル2
(渇水警戒)

玉川ダムの貯水位がEL.375.0m未満(貯水率50%以下)の場合は、運用レベル2(渇水警戒)に移行し、**玉川ダムの補給比率を52%、田沢湖の補給比率を48%**とする。

レベル3
(異常渇水①)

玉川ダムの貯水位がEL.368.5m未満(貯水率30%以下)の場合は、運用レベル3(異常渇水①)に移行し、**玉川ダムの補給比率を30%、田沢湖の補給比率を70%**とする。
なお、**取水量20%の節水**を行うものとする。

レベル4
(異常渇水②)

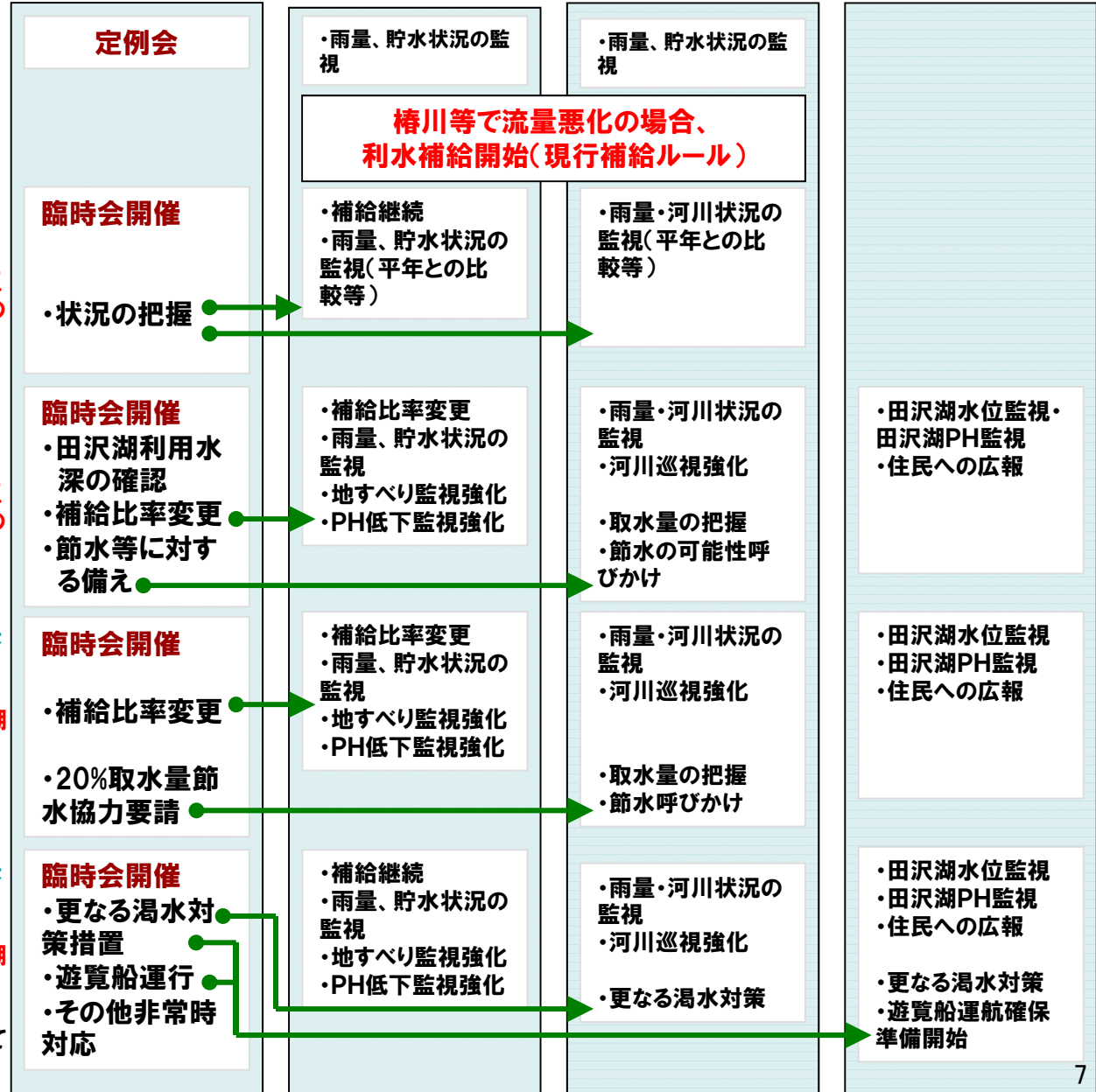
玉川ダムの貯水位がEL.364.4m未満(貯水率20%以下)の場合は、運用レベル4(異常渇水②)に移行し、**玉川ダムの補給比率を30%、田沢湖の補給比率を70%**とする。なお、**取水量20%の節水**を行うものとし、**必要に応じて更なる渇水対策**について実施するものとする。

渇水情報連絡会

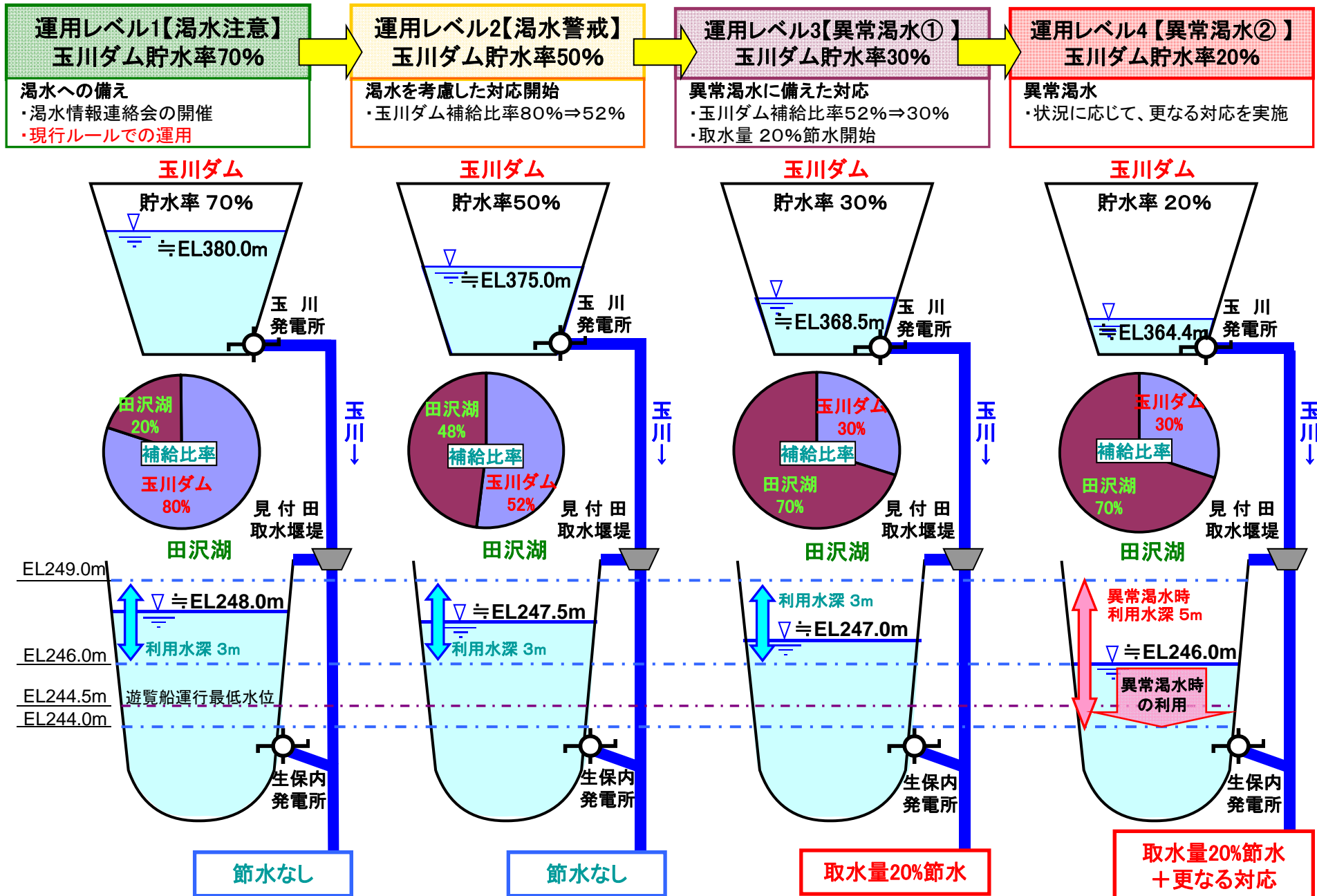
玉川ダム群

河川管理者

秋田県・仙北市

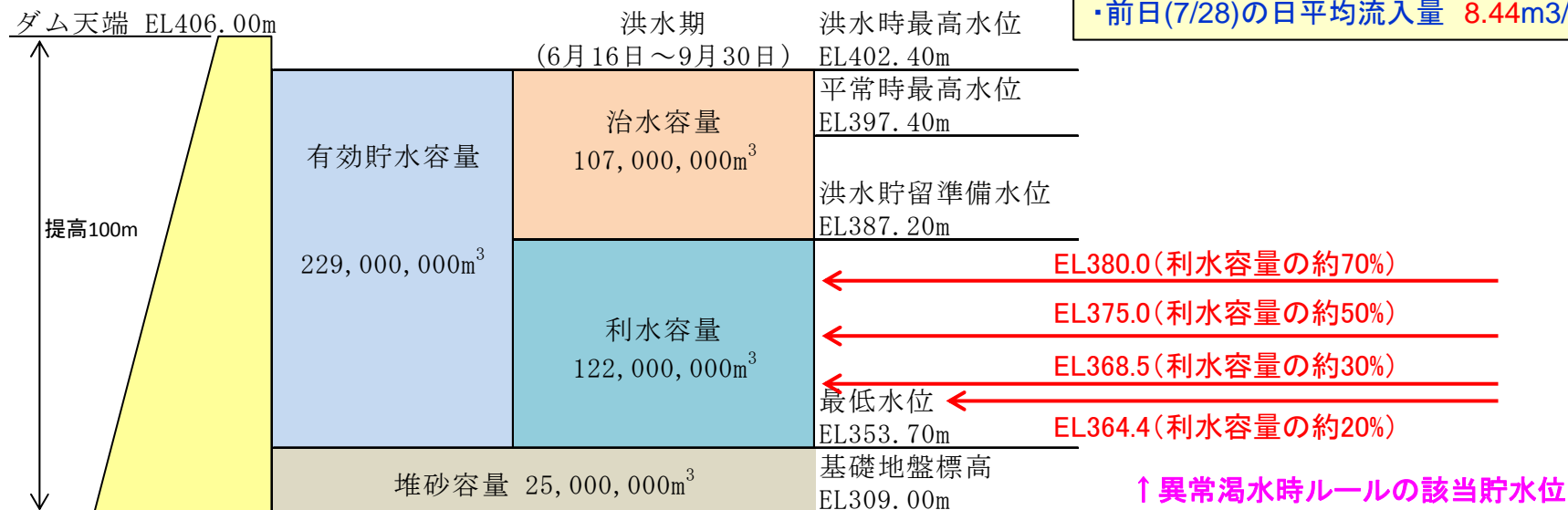


異常渇水時の運用管理ルール(案)のイメージ図



玉川ダム及び田沢湖の現状と今後の見通しについて

◆玉川ダムの貯水池容量配分図と異常渇水時の貯水位



◆玉川ダム R1 .8.6 9:00時点
 ・貯水位 EL 372.62m(利水容量約42%)
 ・利水可能量 約5136万m³
 ・前日(7/28)の日平均流入量 8.44m³/秒

◆今後の見通し等

- ・8月6日時点で玉川ダムの利水容量の貯水率は約42%であり、水位は低下傾向。
- ・今後、少雨の傾向が続くと玉川ダムや田沢湖の水位はさらに低下していくことが予想されるため、その場合は異常渇水時の運用管理ルール(案)の運用レベル3(異常渇水)になっていくものと考えられます。